



駒留中だより

響きの学び舎

世田谷区立駒留中学校 校長 加瀬 康夫
世田谷区下馬 4-18-1 TEL3424-3070

おう ぱい とう り 桜 梅 桃 李

この「桜梅桃李」という言葉については、令和6年度の始業式に紹介した言葉ですので、なんとなく覚えている人もいるでしょうか。

桜：お花見と言えばこの植物です。間違いなく日本で一番、開花に関して注目されている植物です。

梅：日本では歴史上、お花見と言えば桜よりも前に、この植物から始まったといわれています。

桃：果物としての果実の方を思い浮かべる人が多いと思いますが、「ひなまつり」の歌にもあるように春の花として有名です。

李(スモモ)：どんな花かわからないという人は調べてみてください。時期的には梅と桜の間の頃に開花します。

この4つの春に咲く花を並べて「桜梅桃李」という言葉があります。どれも独自のきれいな花を咲かせる植物ですし、「サクランボ」「ウメ」「モモ」「スモモ」という異なるおいしさのある果実のなる植物です。

それぞれ、花の色や形や咲き方、果実としての味などそれぞれ違うので、人それぞれにどれが好きか、というのは異なって良いわけですし、優劣をつけるべきものではありません。「桜梅桃李」とは、それぞれの違いと良さを認めて、それぞれの良さを生かしなさいという意味をもつてている言葉です。

別の言い方をするならば「みんなちがって、みんないい」ということです。この「みんなちがって、みんないい」という言葉は、金子みすゞという詩人の「わたしと小鳥とすと」という詩の一節で、とても有名な言葉だと思いますが、この言葉に関して以前（20

古今著聞集より（橘 成規 編）

年くらい前だったと思いますが、金子みすゞ記念館の館長さんからこんな話を聞いたことがあります。

「みんなちがって、みんないい」という言葉だけを現代の価値観でとらえてしまうと、「みんなそれぞれちがうのだから、自分も他人もそれぞれ勝手にしてしまっていい。」という好き勝手を認めるようにとらえられてしまいがちですが、なぜ「小鳥」や「すず」を選んでいるのかという思いを感じてほしいと思います。空を飛べる動物として、もっと大きな（もっと強い獰猛な）鳥もいるのに「小鳥」を、音を出せるものももっと大きな（もっとうるさい）音の出る道具などもあるのに「すず」を選んでいる思いを受け止めてください。「みんなちがって、みんないい」という言葉は「あなたがいるだけで、生まれただけで100点満点です。」ということですが、自分中心な視点だけでなく、前提として「周りに迷惑をかけたりしない」という考えが含まれていることを、そんな作者の思いを受け止めてほしい、といったような内容でした。（多少、言葉の表現は変わっているかもしれませんが…）

また、先日全校朝会で「世田谷区子どもの権利条例」について、話をさせてもらいました。その条例の中の子どもの権利として「自分らしくいられ、個性が尊重される権利」があるのですが、これは「桜梅桃李」「みんなちがってみんないい」という言葉に込められた「自分を、仲間を大切に思いやる」という考え方と相通じるものだと思います。

人格の完成をめざして（6月）

あなたの役割を自覚して行動していますか？

家族の一員として、毎日家事を分担しています。

自分のやらなければならないことに一所懸命取り組みます。

社会のルールや法律を守ります。

自分の約束したことは、最後までやり遂げます。



運動会を6月4日（水）に実施しました。

6月4日（水）に運動会を実施いたしました。当初は5月31日（土）に実施予定で、当日の準備を終えて開会式を始めようというタイミングで強い雨が一気に降り、延期となりました。また、6月3日（火）も雨天のため、再延期での実施となりました。平日の開催となったにもかかわらず、多くの保護者や地域の方々に参観いただき生徒にとって、とても励みになる行事とすることができます。当日の様子は学校HPをご覧ください。

結果 1年生 1組234点 2組194点 3組165点 【優勝1組】

2年生 1組232点 2組134点 3組208点 【優勝1組】

3年生 1組195点 2組195点 3組224点 【優勝3組】

表彰は、6月9日の
全校朝会で行いました。



生徒総会（5月15日（金））が行われました。

5月15日（金）に生徒総会が行われました。生徒会という組織は、「学校内外における生活の全領域において自主的かつ積極的に行動し、社会生活に必要な態度と習慣を身に付けることを目的」としており、生徒総会はその最高議決機関になります。「世田谷区子どもの権利条例」の原則の中に「子どもは、自分に関係のあることについて、自由に意見を言ったり、参加することができます。大人は子どもの声に耳を傾け、尊重しなければなりません。」とあります。中学校で設定されている生徒総会は、子どもが意見を述べ、参加するという場面です。専門委員会員会で話し合いを進め、議案書を作成して、各学級による議案書討議を行い、質問や要望に対する答弁を行う準備をそれぞれの委員会で行い、当日を迎えるという手順を踏んでまいりました。生徒会とは、生徒会役員や専門委員など一部の人が活動をする場ではなく、駒留中学校の生徒一人一人が生徒会のメンバーであることを再認識して、自分たちの力、考えで駒留中学校をより良くするための考え、意識を共有する時間となったと思います。



安全に対する指導 ●セーフティ一教室（5月16日（金））

●ネットリテラシー醸成講座【1年】（6月6日（金）） ●避難訓練【不審者対応】（6月13日（金））

「学校は、生徒一人一人にとって自分の安心できる居場所があり、自分の良さを見つけられるとともに自己の尊厳を実感できる場所でなくてはならない。」これは、学校経営の基本理念として一番最初に掲げているものです。その理念に基づき、学校では様々な安全教育が行われています。

●セーフティ一教室

「生徒の健全育成の活性化及び充実を図る。」「家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止を推進する。」「生徒がスマートフォン、インターネット犯罪に関するトラブルに巻き込まれないために、注意すべきポイントを学ぶ。」これらを目的として世田谷警察署生活安全課に協力を依頼して実施しました。全校生徒及び保護者参加での講演後、世田谷警察署生活安全課、本校教職員、学校協議委員、保護者で意見・情報交換を行いました。



●ネットリテラシー醸成講座

この取り組みは世田谷区内の小学校6年、中学校1年を対象にして毎年実施されています。目的はとして「主体的に情報技術と向き合い、上手に生きていくためにはどのように行動すべきかを考える」ために、次々と変化する子どもを取り巻くネット・メディアの最新事情に詳しい専門会社の講師が、インターネット、ソーシャルメディア等の上手な付き合い方、注意点などについて講義を行い、子どものネットリテラシー醸成を図る取り組みとなっています。



●避難訓練【不審者対応】

この訓練は、「不審者から自己を守るという意識を持たせる。」「教員の動きの確認」を目的として行いました。生徒が登校後の8時32分に不審者が校内に侵入という想定で生徒には事前に周知することなく実施いたしました。

